

長野市森林経営管理計画（案）（**樹立**・変更）に関する質問・意見（前回議事録より）

計画書の文書の修正箇所

頁	修正前	修正後
2	コラム 2 森林環境税と森林環境譲与税 ～先行して市町村と県に交付されており、 <u>森林環境譲与税が徴収される令和 6 年度</u> ～	コラム 2 森林環境税と森林環境譲与税 ～先行して市町村と県に交付されており、 <u>森林環境税が課税される令和 6 年度</u> ～
7	コラム 9 主な森林整備事業の概要 森林づくり・活用事業 ～森林環境譲与税を財源として長野市が <u>補助預金</u> を交付～	コラム 9 主な森林整備事業の概要 森林づくり・活用事業 ～森林環境譲与税を財源として長野市が <u>補助金</u> を交付～
23	(3) 先端技術・管理手法の導入 <u>衛星画像の活用</u> 短期間で更新できる衛星画像を活用し～	(3) 先端技術・管理手法の導入 <u>衛星画像の活用</u> 短期間で更新できる衛星画像を活用し～
24	7 木材需要の創出 (1) 木材需要の現況 長野県森林組合～周辺地域の木材流通の <u>主要な役割</u> を～	7 木材需要の創出 (1) 木材需要の現況 長野県森林組合～周辺地域の木材流通の <u>起点となる役割</u> を～
25	(2) 木材需要の創出 森林経営～新たな木材需要の創造と～ 住宅の～木材需要の創出が有力視～ 【木材需要創出のための検討会議】 <u>森林の高齢化が進んでおり</u> ～ JAS 認証工場の誘致 (3) 市産材普及事業 【実績及び予定】 令和 3 年度予定	(2) 木材需要の創出 森林経営～新たな木材需要の <u>創出</u> と～ 住宅の～木材需要の創出が期待～ 【木材需要創出のための検討会議】 <u>森林の高齢化による大径化が進んでおり</u> ～ 製材工場の <u>JAS 認証推進</u> (3) 市産材普及事業 【実績及び計画】 令和 3 年度計画
26	8 森林とのふれあいの促進 (1) 森林体験事業 ～「森林の里親契約」～ <u>緑の少年団</u> による間伐体験 (2) 森林とふれあい体験事業 ～また、 <u>より広い市民</u> に～	8 森林とのふれあいの促進 (1) 森林体験事業 ～「森林（もり）の里親契約」～ <u>みどりの少年団</u> による間伐体験 (2) 森林とふれあい体験事業 ～また、 <u>幅広い市民</u> に～
27	コラム 15 新たな森林とのふれあい活動の検討 森林を～増加しています。これらの～ <u>野外活動</u> でもあります。	コラム 15 新たな森林とのふれあい活動の検討 森林を～増加しています。これらの～ <u>野外活動</u> でもあります。

質問・ご意見等に対する回答

頁	質問・意見	回答
5	長野市森林経営管理計画（案）の中での人工林と天然林はどういったものなのか	 <p>P-3により説明</p>
5	林齢・樹齢について天然林では林齢とは言わないと思う。	
5 15 16	広葉樹について天然林、人工林なのかわかりづらい。	
15	林業不適地（人工林を抽出）の経営管理指標についての考え方・方向性がよく見えてこない	 <p>資料1-5により説明</p>
15 16	林業適地と林業不適地のフローチャートの作成してほしい。	
12	伐って植えるサイクル、更新という視点について	

計画全体に係る用語の統一

人工林と天然林

苗木を植えたり、種子をまいて育てた林を人工林、自然に落ちた種子や土の中で休眠していた種子からの実生や切り株からぼう芽（芽吹くこと）した木で構成される林を天然林と呼びます。

林齢と樹齢

人工林については植えたときからの年数を林齢（年）として表しています。天然林については樹齢で表現することが一般的ですが、今回の計画では天然林についても林齢（年）として表記しています。天然林の林齢は上層木の平均樹齢を表しています。

針葉樹と広葉樹

- 針葉樹の種類としてスギ、カラマツ、アカマツ、ヒノキ等があります。人工林が90%、天然林が10%で、ほとんどが人工林です。
- 広葉樹の種類としてクヌギ、ナラ類、ブナ等があります。天然林が99.4%で人工林が0.6%で、ほとんどが天然林です。